**令和４年（2022 年）度製図試験.com オープン課題「事務所ビル」** ver20220722

# I. 設 計 条 件

この課題は、ある地方都市の公園南側の敷地に事務所ビルを計画するものである。「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」に規定する「建築物移動等円滑化基準」を満たす計画とする。

## 1. 敷地及び周辺条件

(1) 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、「敷地図」のとおりである。
(2) 敷地は道路及び隣地との相互間に高低差はない。また歩道の切り開きは、1 箇所当たり 6m までできるものとする。
(3) 敷地は、商業地域及び準防火地域に指定されている。また、建ぺい率の限度は 90%(特定行政庁が指定した角地にある敷地及び準防火地域における耐火建築物等を含む)、容積率の限度は 500%である。
(4) 電気、ガス及び上下水道は、完備している。
(5) 地盤は良好であり、杭打ち等の必要はない。
(6) 水害、日影及び積雪の配慮はしなくてよい。

## 2. 建 築 物

(1) 構造、階数等
構造形式は自由とし、地上 7 階建ての耐火建築物とする。
(2) 床面積の合計
床面積の合計は 6,500m2 以下とする。
この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外階段は、床面積に算入しないものとする。なお、ピロティ等を屋内的用途に供するもの(駐車場、設備スペース等)については、床面積に算入するものとする。
(3) 要求室
下表の室は、すべて計画する。

| 室 名 | 特記事項 | 面積 |
|---|---|---|
| ・多目的ホール、ホワイエ、ミーティング室及びカフェはいずれもオープンスペースから出入りする計画とする。 | | |
| オフィス | ・1 フロア 70 人分(8-10m2／人)の事務室面積を確保する。3－7 階に設ける。 | 適宜 |
| クリニック A／B | ・医療系クリニックを想定したレンタルスペースを 2 室分設ける。レイアウトはしなくてよい。 | 各約 200m2 |
| 湯沸室 | ・各階に設ける。 | 適宜 |
| 倉庫 | ・各階に設ける。 | 適宜 |
| ミーティング室 | ・室内に倉庫を設ける | 約 100m2 |
| 多目的ホール | ・天井高さ 6m 以上とする。<br>・柱型以外の凹凸がない室内とする。<br>・空調機械室を設ける。 | 200m2 以上 |
| ホワイエ | ・多目的ホール用として設ける。 | 約 100m2 |
| エントランスホール | ・風除室を設ける。<br>・オフィス及びクリニック専用とする。 | 適宜 |
| カフェ | ・テーブル、イス、カウンターで 40 席以上設ける。厨房を設ける。 | 120m2 以上 |
| 管理室 | ・夜間出入口用カウンタ設ける。 | 約 15m2 |
| 便所 | ・男、女、多機能トイレ（オストメイト対応）を各階に設け便器、洗面、SK 等をレイアウトする。 | |
| 設備スペース | ・必要に応じて室外機、電気設備を設置する。<br>・機器のメンテナンスに配慮した配置とする。<br>・その他、採用した設備計画に応じて計画する。 | 適宜 |
| ・上記の室に関連して必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。 | | |

## 3. その他の施設等

(1) 駐車場は平面駐車とし、車いす使用者用として1台分以上、管理・サービス用として 2 台分以上合計 3 台分以上を設け、それ以外の一般利用者は敷地外の公共駐車場を利用する。
(2) オープンスペース(面積 200m2 以上としひさし下部は含んでよい)を設ける。
(3) 駐輪場は敷地外駐輪場を利用する。

## 4.留 意 事 項

建築計画、構造計画及び設備計画については、次の点に留意して計画する。
(1) 建築物はバリアフリー、セキュリティ、省エネルギー、二酸化炭素排出削減に配慮する。
(2) 利用者の当該敷地へのアプローチは、利用者の利便性に配慮する。また各部門は利用形態に応じて適切に計画する。
(3) 敷地条件(方位等)や周辺環境に配慮するとともに、空調負荷の抑制や自然光の利用、日射遮蔽及び通風等を用いて、建築環境負荷低減に配慮する。
(4) 建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画するとともに経済性にも配慮する。
(5) 構造種別、架構形式、スパン割及び基礎構造について適切に計画すると共に、適切な断面寸法の部材を配置する。
(6) 設備機器の搬出入及び更新に配慮した計画とすると共に、利用者用昇降機を2基設ける。
(7) 建築物の外壁の開口部で延焼のおそれのある部分には、所定の防火設備を適切に計画する。また、防火区画(面積区画・竪穴区画)が必要な部分には、所定の防火設備を用いて適切に区画する。なお、本建築物は、「避難上の安全の検証」を行わないものとする。
(8) 地上に通ずる2以上の直通階段を適切に計画する。また、必要に応じて、「敷地内の避難上必要な通路」を適切に計画する。

# II. 要 求 図 書

**答案用紙 I** の定められた枠内(寸法線については枠外でもよい。)に、黒鉛筆を用いて記入する。

## 1. 要求図面(答案用紙 I に記入)

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい)、必要な事項を記入する。なお各図面には、必要に応じて計画上留意した事項について、簡潔な文章や矢印等により補足して明示する。

| 図面及び縮尺 | 特記事項 |
|---|---|
| (1)1 階平面図兼配置図 1/200<br><br>(2)2階平面図 1/200<br><br>(3)基準階平面図 1/200 | ① 1 階平面図兼配置図、2 階平面図及び 3 階平面図に、次のものを図示又は記入する。<br>イ.建築物の主要寸法(柱割り及び床面積の計算に必要な程度)<br>ロ.室名等<br>ハ.設備シャフト〔パイプシャフト(PS)、ダクトスペース(DS)、電気シャフト(EPS)〕の位置<br>ニ.設備計画に応じた設備スペース<br>ホ.断面図の切断位置<br>ヘ.要求室の床面積、特記事項の室、スペース、什器等<br>ト. 建築物の外壁の開口部で延焼のおそれのある部分の位置及び防火設備、防火区画に用いる防火設備<br>② 1 階平面図兼配置図には、次のものを図示又は記入する。<br>イ.建築物の出入口(▲で表示)、通用口等(△で表示)<br>ロ.駐車場(台数及び出入口を明示する。)<br>ハ.敷地内の避難上必要な通路(ある場合のみ)の経路と幅<br>ニ.通路、植栽等<br>③ 2 階平面図には、次のものを図示又は記入する。<br>イ. 下階の屋根、ひさし等となる部分<br>ロ. 居室の最も遠い位置から2の直通階段に至る歩行経路、その一に至る歩行距離及び重複区間の長さ<br>④基準階平面図は3階平面図とし、次のものを図示又は記入する。<br>イ.下階の屋根、ひさし等となる部分<br>ロ.居室の最も遠い位置から2の直通階段に至る歩行経路、その一に至る歩行距離及び重複区間の長さ |
| (3)断面図 1/200 | ① 切断位置は、多目的ホールを含み建築物全体の構成がわかる位置とする。なお水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。<br>② 建築物の最高の高さ、階高、天井高、1 階床高、基礎底盤及び主要な室名を記入する。<br>③ 梁、壁、基礎、スラブの断面を図示する。<br>④ 延焼の恐れのある部分及び、防火区画の防火設備、特定防火設備、道路斜線を図示する。 |

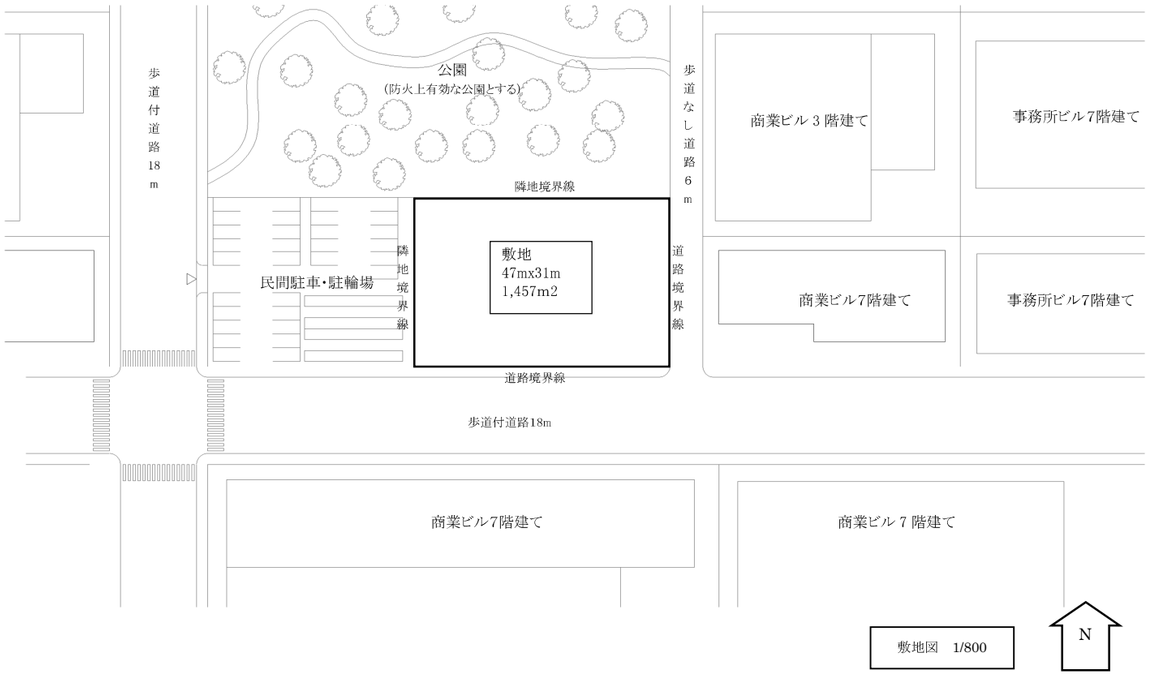
## 2. 面積表(答案用紙 I に記入)

(1) 地上 1～7階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。また建ぺい率とその計算式についても記入する。

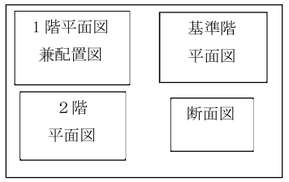
## 3. 計画の要点等

建築計画、構造計画及び設備計画について、次の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。

略します。

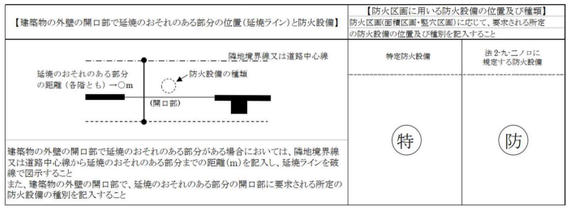



## 5. 図面レイアウト（製図試験.com 課題指示：本試験では解答用紙Ｉに記載）



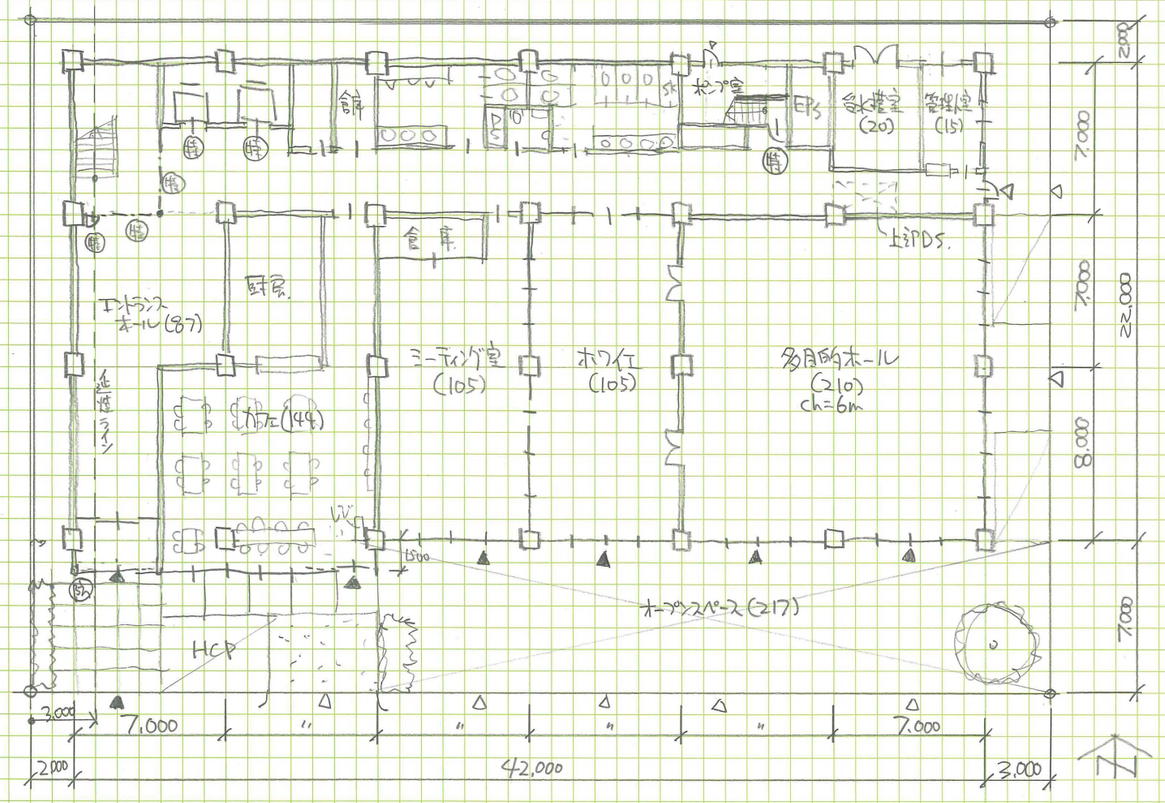

### 防火設備等の凡例

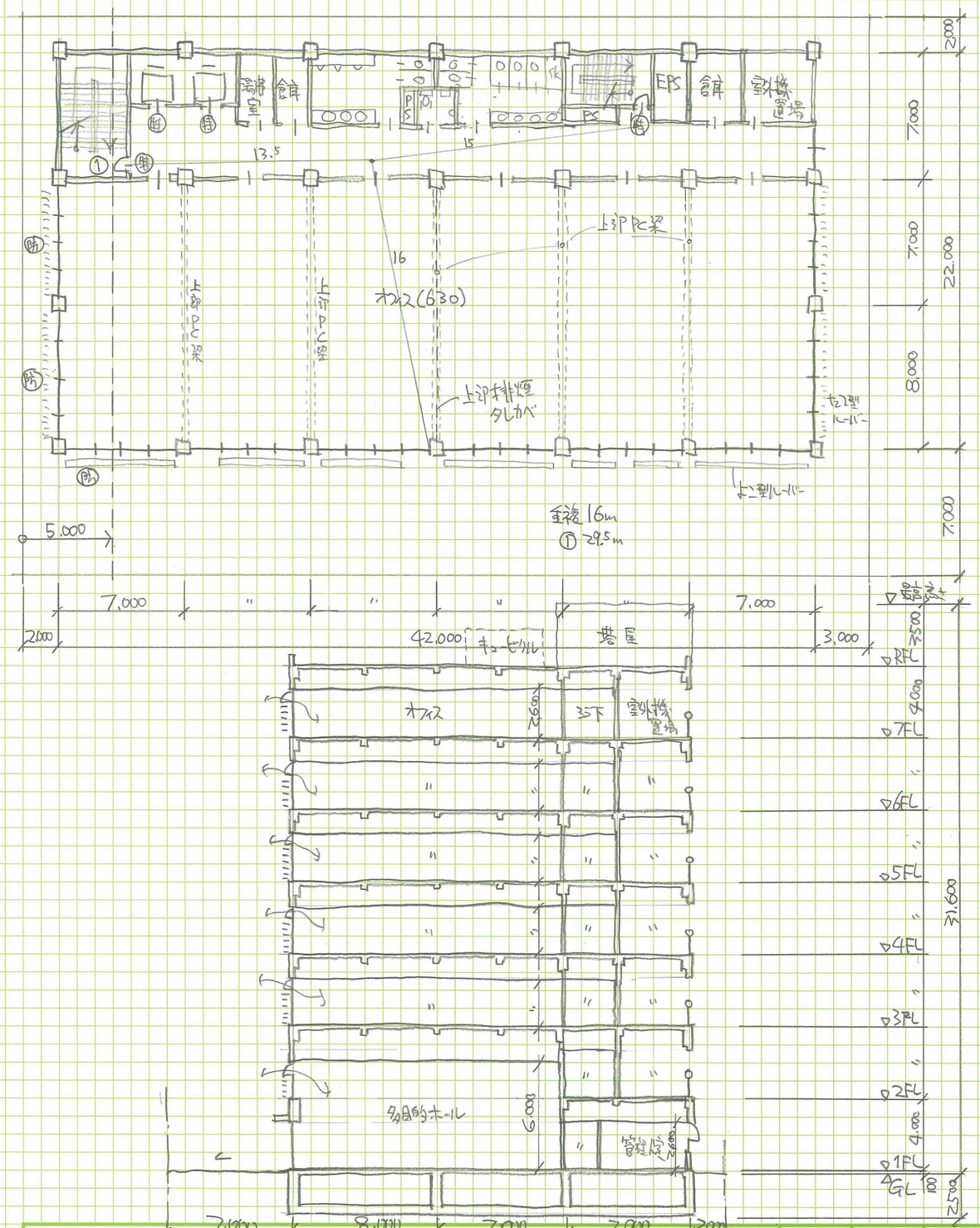
(⑥、⑦等の表示は、必要な箇所（外壁の開口部、断面図も含む）に全て記入すること)

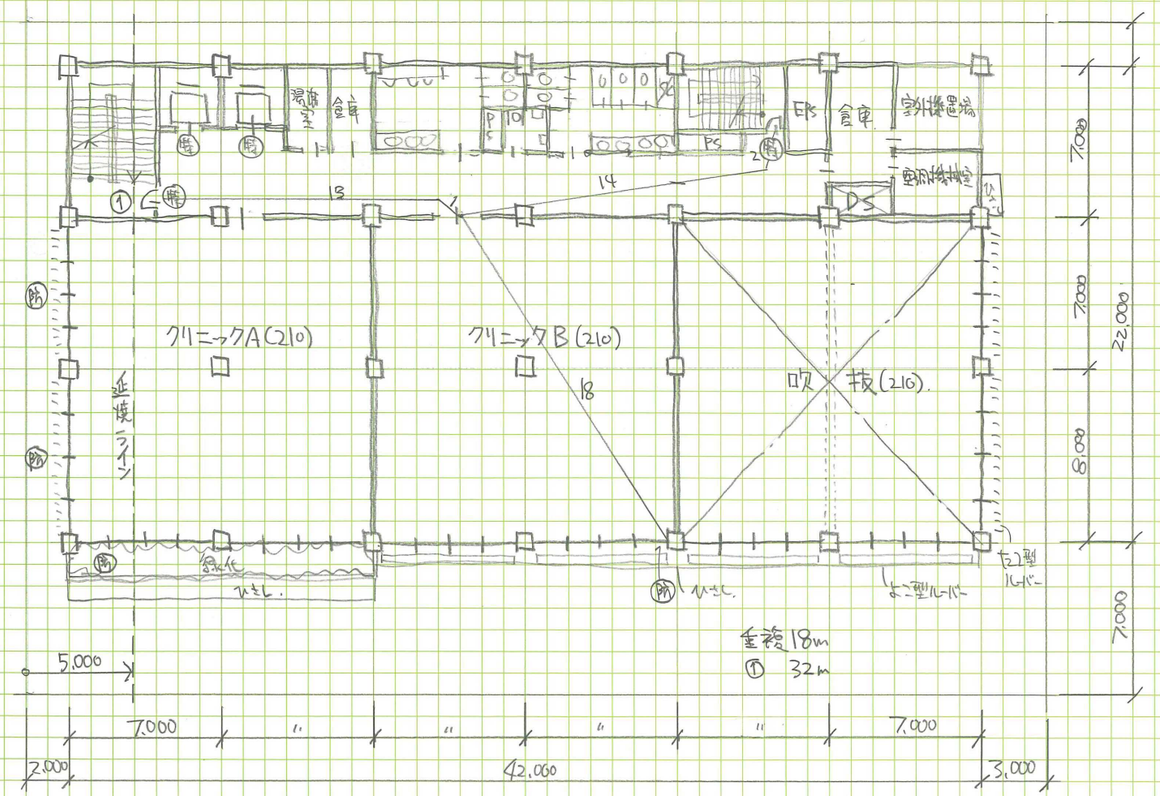



■添削について
添削希望者は、図面、要点を同封して下記住所までお送り下さい。
添削費用は 4,000 円とします。
〆切は8月10日（水）消印有効。添削は約10日間程度でご返却を予定しています。
〒554-0012 大阪市此花区西九条 2-7-8-3F 製図試験.com 事務局
送付前に図面は必ずコピーを取ったのち、その原本を 4 つ折りして角 2 号封筒を使用してください。速達、書留、宅急便にする必要はありません。

| 試験場 | | 受験番号 | □□-□□□□□□ | HN | | 製図試験.comID | 22 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|




| 面積表（算定式は、算出過程がわかるものとする。算出結果は、小数点以下第１位までとし、第２位以下は切り捨てる。） | | | | 製図試験.com 答案用紙Ⅰ | エスキース 分 | 提出 7/22 | 添削 7/22 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 建築面積 | (算定式) 42×22+14×1.5 | | 945 ㎡ | 所感 | 要点 分 | 枚数 1 | 課題No. Open |
| 建ぺい率 | (算定式) 945/1457 | | 64.8 % | | 作図 分 | | |
| 床面積 | 1 階 | (算定式) 42×22+14×1.5 | = 945 | 合計 6,183 ㎡ | ID 22ØØØØ | | |
| | 2 階 | (算定式) 28×22+14×7−4×4 | = 698 | | | | |
| | 3-7 階 | (算定式) 42×22−4×4=908 908×5= | 4540 | | ハンドルネーム Zone | | |